



ITOCHU ENEX
TEAM IMPUL



Race Report

SUPER FORMULA Round2
2017.5.27 sat ~ 28 sun

HOSHINO RACING Co.,Ltd.

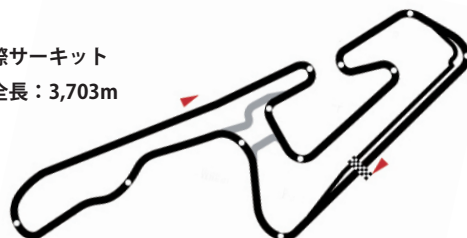
今季初PP&初優勝達成で実りある2日間に

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL
No.19 関口 雄飛
No.20 ヤン・マーデンボロー



約1ヶ月のインターバルを挟み、岡山国際サーキットにて第2戦が開催されました。この間にSUPER GTは2ラウンドを終了したため、チームとしては久々のSUPER FORMULAのレースとなりました。開幕戦鈴鹿ではノーポイントという結果に終わり、今回の岡山では巻き返すべく準備をしてきました。土曜日と日曜日にそれぞれ予選と決勝レースを行う2レース制のラウンドに臨みました。

岡山国際サーキット
 コース全長：3,703m



5/27(土) レース1公式予選 (計時予選)

天候：☀ コース：ドライ

気温：18℃ 路面温度：24℃

10:30～10:50

まずはこの日の午後行われるレース1のスターティンググリッドを決する、予選が全車出走の計時予選方式により朝の10:30～10:50の20分間で行われました。



陽射しがある場所は暑く感じられましたが、風が吹くと少し肌寒いというコンディションになった岡山国際サーキットがある美作市。10:30の予選開始と同時に勢いよくITOCHU ENEX TEAM IMPULの2台はコースインしていきました。前半にまずはワンアタックを敢行。No.20 ヤン・マーデンボローが1'14.194のタイムをマークし2位につけます。No.19 関口雄飛は1'14.254で後半のラストアタックに賭けます。

残り11分を切るところで全車順々にピットへ戻る中、関口とヤンもピットへ呼び戻し、セッティングを微調整。残り6分で再びコースインさせます。岡山国際サーキットは3.703kmとコース全長が短く、出走全19台がアタックに向かうとコースの至るところで「渋滞」が発生してしまいます。しかし関口は全車中で真っ先にコースインしていったため、クリアラップを取ることに成功。1'13.387のタイムで2番手以下を圧倒。ポールポジションを獲得しました。また、この結果によりPPドライバーに与えられる貴重な1ポイントも加算することになりました。一方のヤンはセッション前半に記録した1'14.194を上回るタイムは出せず5位。しかしながら今回は2台揃って好位置につけ、2人のドライバーは午後のレース1決勝に向け淡々と集中力を高めていきました。

5/27(土) レース1決勝

天候：☁ コース：ドライ

気温：23℃ 路面温度：31℃

決勝レース距離 3.703km×30Laps=111.09km

観客動員数：7,100人

15:30～



1日で予選、決勝を完結させるレース1。昼時間にはピットワークなどを挟み、慌ただしくスケジュールを消化し、レース1決勝は15:30にスタートしました。

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL、No.19 関口雄飛がポールポジションからスタートを切るも出遅れてNo.36 アンドレ・ロッテラー選手(VANTELIN TEAM TOM'S)にかわされ2位へ。また4番グリッドからスタートのNo.2 石浦宏明選手(P.MU/CERUMO・INGING)にはインから並ばれ、後方のマシンにも飲み込まれかけますが、2位のポジションを死守します。代わってトップに立ったロッテラー選手には序盤、差を開けられてしまいましたが、関口は食らいつきます。この後、終始僅差でファステストラップとセクターベストを互いに出し合い、ファイナルラップまでめげることなくレベルの高いラップを記録しますが、そのままの順位でフィニッシュ。悔しい2位に終わりました。一方、No.20 ヤン・マーデンボローもスタートで順位を1つ落として6位へ。すぐ前を走る5位のNo.16 山本尚貴選手(TEAM MUGEN)を追い立てるも、ここはオーバーテイクがしにくい岡山国際サーキット。順位浮上は叶わず6位。しかしながらヤンはこのレースで初完走と貴重なSF初ポイントを記録しました。

レース2に向けて確かな手応えを感じ取った土曜日のレース1予選と決勝レース。TEAM IMPULとして今季初表彰台も獲得し、復活の狼煙を上げました。



5/28(日) レース2公式予選 (ノックアウト方式Q1～Q2)

天候：☀ コース：ドライ

気温：20℃ 路面温度：28℃

Q1：9:20～ Q2：10:00～



レース1が行われた予選日の前日に引き続き天候に恵まれた岡山国際サーキット。この日は朝9:20から、Q1～Q2のノックダウン方式で予選が行われました。

まずQ1は20分間で行われ、Q2へ進出する上位10台を決します。同時にここで11位から19位のマシンはレース2決勝のグリッドを決することになります。ITOCHU ENEX TEAM IMPULとしては前日と同様ポールポジションの獲得を狙う戦いです。No.19 関口雄飛は前日のレース1決勝の雪辱を果たすためダブルポールを、No.20 ヤン・マーデンボローも初PPを目指してQ1へ向けてピットアウトしていきました。

まずは2台ともユーズドタイヤを装着しセッティングの確認。1度アタックを敢行し、14秒台のタイムをマーク。残り13分半のところまでピットへ戻ります。今度はニュータイヤを装着し残り7分半で関口、ヤンが揃ってピットアウト。タイヤを入念にウォームアップし、前のマシンとの間合いを計ります。残り1分、アタックに入っていこうかというところに2コーナーでコースアウトしグラベルにストップしてしまったマシンがあったため、赤旗中断。全車一旦ピットへ戻ります。この段階で関口が9位、ヤンが10位とQ2通過のボーダーラインに位置していたため、再開後はもう1アタックしタイムを上げたいところ。マシンの回収が終わり再開されたのは9:45。残り時間2分半でQ1最後のアタックへ向かいました。関口は1'14.777で10位。11位のマシンとは0.002秒差での間一髪のQ1通過となりました。ヤンは、最後のアタックでセクター1ベストタイムを刻みますが、その後タイムが伸びず1'14.964で16位。無念のQ1敗退となりました。

続くQ2はQ1での赤旗中断の影響もあり、予定より10分遅れて10:00に開始。ポールポジションを賭けて10台がQ2に臨みました。関口、開始直後はピットで待機。残り時間7分20秒でピットアウトしアタックへ向かいます。同じタイミングでライバルもコースイン。残り15秒で1'14.134をマークし2番手に入るもトップには届かず。続けてラストアタックを敢行しますが、タイムを更新とはなりません。最終的に順位浮上したマシンが1台あり、3位。午後の決勝ではセカンドローからのスタートを切ることにしました。



5/28(日) レース2決勝

天候：☀ コース：ドライ

気温：27℃ 路面温度：41℃

決勝レース距離 3.703km×51Laps=188.853km

観客動員数：11,000人

14:25～



前日の土曜日同様1日完結のレース2。この日はピットウォークの他、監督の星野一義がグランドスタンド裏のTOYOTA GAZOO Racingブースで行われた監督トークショーに参加。館信秀監督(VANTELIN TEAM TOM'S)と近藤真彦監督(KONDO RACING)とともに毎戦恒例の催しとなっています。レース2の予選トップ4に入っている監督同士ということもあり、いつも以上に盛り上がりました。

今回、最大燃料流量を増量することが出来る「オーバーテイクシステム(OTS)」が2レースで計5発の使用となっています。1発につき20秒間作動するこのシステムはNo.19 関口雄飛がレース1で使用せず残5発、No.20 ヤン・マーデンボローはレース1で1発使用しこのレース2では残4発となります。決勝レースは14:25にフォーメーションラップがスタートしました。

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL、関口は3番グリッドからレースをスタート。前日のレース1でも失敗し、関口にとって鬼門となっているスタート、蹴り出しこそ悪くはなかったものの、それ以上に4番グリッドからスタートしたNo.36 アンドレ・ロッター選手(VANTELIN TEAM TOM'S)のスタートが良く、レース1に引き続き先行を許してしまいます。5番グリッドのNo.15 ピエール・ガスリー選手(Team Mugen)にもインからサイドバイサイドに持ち込まれてしまいますが、ここはポジションを守り切り、1つ順位を落としましたが4位でオープニングラップを走行します。No.19 柏木良仁チーフエンジニアを筆頭にチームは1周目終わりに関口をピットに呼び込む作戦を採用。ピットインし、義務である4輪のタイヤ交換を遂行しコースへと戻ります。関口と同じく1周目終わりにピットインしたマシンは8台。この中でトップでコースへと戻り、単独走行へ。トップグループのマシンがピットイン後の逆転を目指して、フレッシュタイヤの状態でもオーバーテイクシステムを使用しながら、プッシュし続けます。この時点でのファステストラップもマークし、気を吐きます。6周目終わりには3位のロッター選手がピットイン。作業中に関口は悠々とホームストレートを通り逆転に成功します。その後、レース中盤も引き続きプッシュ。未ピット組が続々とピットインする中、ポールポジションからトップを走行するNo.2 石浦宏明選手(P.MU/CERUMO・INGING)は34周目によやくピットイン。石浦選手がコースインする頃、関口は1コーナーを通過。見事石浦選手をも逆転に成功します。38周目、クラッシュしたマシンがバリアに突っ込んだため39周目にセーフティカーが導入。好ペースで2位の石浦選手に対し8.873秒差を付け、着実にギャップを築きつつあった関口ですが、後方のマシンとの差は一気になくなってしまいました。マシン回収が終わると43周目にレースリスタート。残り9週の争いとなります。最終盤、石浦選手のペースが良く、僅差で追い詰められてしまいます。ファイナルラップでは最後のオーバーテイクシステムを使用し、抜きにくいというコース特性を活かして逃げ切り。今季初優勝を飾りました。関口の優勝は昨年の第6戦SUGO以来通算3度目となりました。

一方のヤンは16番グリッドからレースをスタート。オープニングラップの1コーナーでスピン、接触を喫し順位を18位まで落としてしまいます。チームメイトの関口がピットインした翌周にピットインし、4輪タイヤ交換を行います。コースへと戻ったあとは後方、18位で苦しいレースを戦います。38周目のクラッシュでリタイアとなったNo.41 伊沢拓也選手(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)に離脱により17位へ浮上した以外で順位を上げることが出来ず。予選順位に大きく左右されたチームメイトとは対照的に、今週末の最後は苦汁をなめる結果となりました。

開幕戦鈴鹿での苦戦以降1か月間、対策を講じ今回の岡山ではチームとして今季初ポールポジションと今季初優勝を記録することが出来ました。No.19 関口雄飛は今回の2位と優勝によりポイントランキングでも上位に付け、中盤戦へ突入していきます。No.20 ヤン・マーデンボローも十分な速さを持ち合わせていますので次戦以降では巻き返し、2台揃って好結果を求めています。引き続き、ITOCHU ENEX TEAM IMPULへのご声援、よろしくお願いします。

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL 2017年シーズン ここまでの戦績

第1戦鈴鹿	関口雄飛	予選6位	決勝12位	J.マーデンボロー	予選12位	決勝18位
第2戦岡山 レース1	関口雄飛	予選PP	決勝2位	J.マーデンボロー	予選5位	決勝6位
第2戦岡山 レース2	関口雄飛	予選3位	決勝優勝	J.マーデンボロー	予選16位	決勝17位
ドライバーランキング	関口雄飛	5位	／	J.マーデンボロー	13位	
チームランキング	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL 4位					

TEAM IMPUL Next Race Information

- 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦
7/8(土)～9(日) 富士スピードウェイ
- SUPER GT 第4戦 7/22(土)～23(日) スポーツランドSUGO

IMPUL.official
 @IMPUL_official

<http://www.impul.co.jp>



2017 年 協賛会社様

伊藤忠都市開発

ご支援 誠にありがとうございます。敬称略・順不同

監督・ドライバーからのコメント



監督 星野 一義 Kazuyoshi Hoshino

関口の根性が光りましたし、
チームの総合力で戦えたレースになりました。
優勝で終わることが出来て非常に良かったです。



No.19 関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi

2日間通してスタートには課題が残りました。
チームにはいい作戦とクルマを用意してもらい感謝しています。
引き続き頑張ります。



No.20 ヤン・マーデンボロー

Jann Mardenborough

関口選手が素晴らしい走りをしました。
アンラッキーもありましたが、
マシンは良いので次戦に期待してください。





5/27(土) レース1公式予選 (計時予選)

天候：☀ コース：ドライ 気温：18℃ 路面温度：24℃

10:30～10:50

■ Qualifying1				2017.5.27		
Po	No	Driver	Car Name / Engine	Q1	Q2	Q3
1	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'13.387	181.651km/h	11/11
2	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'13.943	0.556	12/12
3	3	ニック・キャッシュ Nick Cassidy	FUJIXRAFFINEE KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'14.042	0.655	9/ 9
4	2	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'14.117	0.730	5/11
5	20	ヤン・マーデンボロー Jann Mardenborough	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'14.194	0.807	11/11
6	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40S SF14 Honda HR-417E	1'14.235	0.848	11/11
7	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	1'14.258	0.871	13/13
8	4	山下 健太 Kenta Yamashita	FUJIXRAFFINEE KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'14.277	0.890	10/10
9	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	1'14.293	0.906	11/11
10	1	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'14.313	0.926	6/12
11	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'14.335	0.948	11/11
12	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 Honda HR-417E	1'14.387	1.000	4/10
13	15	ピエール・ガスリー Pierre Gasly	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	1'14.424	1.037	12/12
14	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト Felix Rosenqvist	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	1'14.434	1.047	5/12
15	41	伊沢 拓也 Takuya Izawa	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-417E	1'14.451	1.064	11/11
16	65	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	1'14.758	1.371	3/ 9
17	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	1'14.839	1.452	4/10
18	50	小暮 卓史 Takashi Kogure	B-Max Racing team SF14 Honda HR-417E	1'14.889	1.502	12/12
以上予選通過						
19	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	1'20.662	7.275	3/ 9

予選通過基準タイム (107%) 1'18.524

車両：SF14 / タイヤ：ヨコハマ



5/27(土) レース1決勝

天候:☁ コース:ドライ 気温:23℃ 路面温度:31℃

決勝レース距離 3.703km×30Laps=111.09km 観客動員数:7,100人 15:30～

■ Race1 (30Laps)							2017.5.27
Po	No	Driver	Car Name / Engine	Laps	Time	Delay	BestTime
1	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	30	37'58.782	175.499km/h	1'15.233
2	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	30	38'00.730	1.948	1'15.307
3	3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	FUJIXraffinee KONDO SF14 TOYOTA RI4A	30	38'06.568	7.786	1'15.298
4	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	30	38'10.340	11.558	1'15.258
5	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	30	38'13.701	14.919	1'15.689
6	20	ヤン・マーデンボロー Jann Mardenborough	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	30	38'14.274	15.492	1'15.463
7	4	山下 健太 Kenta Yamashita	FUJIXraffinee KONDO SF14 TOYOTA RI4A	30	38'16.278	17.496	1'15.467
8	2	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	30	38'17.534	18.752	1'15.620
9	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	30	38'24.151	25.369	1'15.845
10	1	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	30	38'27.747	28.965	1'15.439
11	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 Honda HR-417E	30	38'29.911	31.129	1'16.031
12	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト Felix Rosenqvist	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	30	38'31.649	32.867	1'15.072
13	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40S SF14 Honda HR-417E	30	38'36.189	37.407	1'16.184
14	41	伊沢 拓也 Takuya Izawa	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-417E	30	38'36.805	38.023	1'15.912
15	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	30	38'38.846	40.064	1'16.046
16	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	30	38'42.896	44.114	1'15.859
17	65	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	30	38'44.453	45.671	1'15.330
18	50	小暮 卓史 Takashi Kogure	B-Max Racing team SF14 Honda HR-417E	29	38'48.525	1 Lap	1'15.727
19	15	ピエール・ガスリー Pierre Gasly	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	29	38'54.342	1 Lap	1'15.374

開始時刻: 15:33'45

車両: SF14 / タイヤ: ヨコハマ

終了時刻: 16:11'43

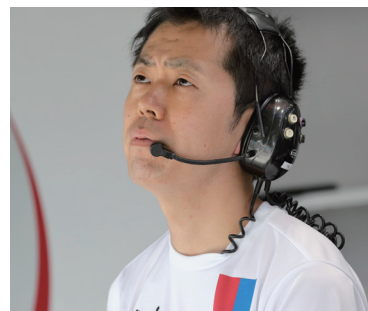


5/28(日) レース2公式予選 (ノックアウト方式Q1～Q2) 天候:☀ コース:ドライ 気温:20℃ 路面温度:28℃
Q1:9:20～ Q2:10:00～

Qualifying2					2017.5.28
Po	No	Driver	Car Name / Engine	Q1	Q2
1	2	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'14.248	1'13.918
2	4	山下 健太 Kenta Yamashita	FUJIXRAFFINEE KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'14.657	1'14.104
3	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'14.777	1'14.134
4	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'14.425	1'14.536
5	15	ピエール・ガスリー Pierre Gasly	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	1'14.685	1'14.566
6	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	1'14.392	1'14.583
7	41	伊沢 拓也 Takuya Izawa	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-417E	1'14.765	1'14.584
8	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	1'14.667	1'14.585
9	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'14.544	1'14.596
10	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	1'14.769	1'15.431
11	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40S SF14 Honda HR-417E	1'14.779	
12	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 Honda HR-417E	1'14.858	
13	1	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'14.907	
14	65	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	1'14.955	
15	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト Felix Rosenqvist	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	1'14.959	
16	20	ヤン・マーデンボロー Jann Mardenborough	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'14.964	
17	3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	FUJIXRAFFINEE KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'15.204	
18	50	小暮 卓史 Takashi Kogure	B-Max Racing team SF14 Honda HR-417E	1'15.215	
19	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	1'15.309	

予選通過基準タイム (107%) 1'19.445

車両: SF14 / タイヤ: ヨコハマ



5/28(日) レース2決勝

天候:☀ コース:ドライ 気温:27℃ 路面温度:41℃

決勝レース距離 3.703km×51Laps=188.853km 観客動員数:11,000人 14:25～

■ Race2 (51Laps)							2017.5.28
Po	No	Driver	Car Name / Engine	Laps	Time	Delay	BestTime
1	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'02.975	164.102km/h	1'16.142
2	2	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'03.383	0.408	1'15.772
3	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'05.561	2.586	1'16.076
4	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト Felix Rosenqvist	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'06.227	3.252	1'16.104
5	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'08.897	5.922	1'15.631
6	4	山下 健太 Kenta Yamashita	FUJIXraffinee KONDO SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'11.009	8.034	1'16.380
7	15	ピエール・ガスリー Pierre Gasly	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	51	1h09'13.208	10.233	1'16.191
8	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	51	1h09'17.262	14.287	1'16.968
9	1	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'20.062	17.087	1'16.801
10	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40S SF14 Honda HR-417E	51	1h09'20.707	17.732	1'17.108
11	3	ニック・キャッシュ Nick Cassidy	FUJIXraffinee KONDO SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'21.592	18.617	1'16.694
12	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	SUNOCO TEAM LEMANS SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'22.055	19.080	1'17.003
13	65	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	51	1h09'22.545	19.570	1'16.527
14	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	51	1h09'23.375	20.400	1'17.337
15	50	小暮 卓史 Takashi Kogure	B-Max Racing team SF14 Honda HR-417E	51	1h09'24.064	21.089	1'17.417
16	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 Honda HR-417E	51	1h09'24.533	21.558	1'17.390
17	20	ヤン・マーデンボロー Jann Mardenborough	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'25.167	22.192	1'17.359
18	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	51	1h09'26.099	23.124	1'17.214
以上完走							
-	41	伊沢 拓也 Takuya Izawa	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-417E	37	48'24.087	14 Laps	1'16.954

開始時刻: 14:28'29

車両: SF14 / タイヤ: ヨコハマ

終了時刻: 15:37'31



RANKING

■ Driver ranking											
Po	No	Driver	Rd1	Rd2		Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Total
1	36	アンドレ・ロツテラー	4	5	3						12
2	37	中嶋 一貴	11	-							11
3	16	山本 尚貴	8	2	0.5						10.5
4	2	石浦 宏明	5	0.5	5						10.5
5	19	関口 雄飛	-	5	5						10
6	1	国本 雄資	6	-							6
7	18	小林 可夢偉	-	2.5	2						4.5
8	3	ニック・キャッシュ	-	3							3
9	10	塚越 広大	3	-							3
10	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	-	-	2.5						2.5
11	4	山下 健太	-	1	1.5						2.5
12	64	中嶋 大祐	2	-							2
13	20	ヤン・マーデンプロー	-	1.5							1.5
14	15	ピエール・ガスリー	-	-	1						1
15	41	伊沢 拓也	1	-							1
	40	野尻 智紀	-	-							
	8	大嶋 和也	-	-							
	65	ナレイン・カーティケヤン	-	-							
	50	小暮 卓史	-	-							

■ Team ranking											
Po	Team		Rd1	Rd2		Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Total
1	VANTELIN TEAM TOM'S		14	5	3						22
2	P.MU/CERUMO・INGING		11	0.5	4						15.5
3	TEAM MUGEN		8	2	1.5						11.5
4	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL		-	5.5	5						10.5
5	KONDO RACING		-	4	1.5						5.5
6	KCMG		-	2.5	2						4.5
7	REAL RACING		3	-	-						3
8	SUNOCO TEAM LEMANS		-	-	2.5						2.5
9	TCS NAKAJIMA RACING		2	-	-						2
10	DOCOMO TEAM DANDELION RACING		1	-	-						1
	B-Max Racing team		-	-	-						-

■選手権ポイントシステム										
順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	ポールポジション
1大会 1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会 第1レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1
2レース 第2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

※1大会2レース制の場合、第1・第2レース共に1レース制の得点の半分が与えられる。

